

柳井医療センター だより

令和7年 10月

〈発行所〉
国立病院機構
柳井医療センター
〈発行責任者〉
宮地 隆史

ご挨拶 院長 宮地 隆史

仲秋の候、皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
また平素より当院の運営に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、医療・介護を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。エネルギー費や医療機器・医療材料費の高騰、人件費の増加は全国的な課題となっており、診療報酬が公定価格として定められている以上、自由に価格改定を行うことができません。そのため、多くの医療機関では経営改善の努力にもかかわらず赤字に転じるケースが少なくなく、地域医療の持続性が危ぶまれる事態に直面しています。さらに医師・看護師をはじめとする医療人材の確保も難しく、特に地方部ではその影響が顕著です。こうした問題は単独の医療機関だけでは解決困難であり、診療報酬制度の抜本的な見直しや、国・自治体による補助制度、医療人材養成・配置への積極的な支援が不可欠と考えております。

このような状況下にあいながらも、当院は引き続き「地域に必要とされる専門医療」を担うべく努力を続けております。一般神経疾患の診療に加え、難病診療分野別拠点病院（神経筋疾患群）として神経筋難病医療を推進し、また認知症疾患医療センターとして地域における認知症医療と支援体制の充実に取り組んでおります。さらに慢性腎不全患者への血液透析・腹膜透析医療、腹部救急疾患に対する外科治療、そして重症心身障害児（者）医療といった国のセーフティーネット医療にも積極的に関与し、地域の安心を支える医療を展開してまいります。

地域への啓発活動の一環として、2025年9月には柳井市日積地区で「認知症予防講演会」に参加し、地域住民の皆さまに直接お話しさせていただく機会をいただきました。また、10月25日（土）には第11回柳井医療センター公開講座を田布施町保健センターにて開催予定です。本講座では、第一部として当院透析センター看護師および外科診療部長より「沈黙の臓器 腎臓」をテーマに分かりやすく解説いたします。第二部では副院長より「頭痛と脳卒中」について、私からは「軽度認知障害と認知症」をテーマに、最新の診断・治療の考え方などをお話しする予定です。こうした取り組みを通じ、地域住民への啓発とともに、関係機関の皆さまとの連携強化にもつながっていきたくと考えております。

今後も当院は、神経筋難病疾患医療、認知症医療、透析医療、外科腹部救急医療、重症心身障害児（者）医療といった専門分野を柱に、地域からの多様な医療ニーズに応える努力を続けてまいります。関係機関の皆さまには、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

理 念

- 一 良質の医療を提供します
- 一 素晴らしい療養環境を提供します
- 一 患者満足度の向上に努めます
- 一 職員満足度の向上に努めます

医師コラム

大学院について



外科医師

板本 進吾

このたび、4月より柳井医療センターに赴任いたしました板本進吾と申します。広島大学消化器・移植外科の大学院に在籍しながら、柳井で週3.5日を臨床に、広島大学で1.5日を研究にあてる生活を送っています。

現在は、肝細胞癌（HCC）に関する研究を行っています。血液の中には、がん細胞の一部が流れていることがあり、これを「循環腫瘍細胞（CTC）」と呼びます。私は、このCTCが手術後の再発や患者さんの予後に関係しているのではないかと考え、その関連を調べています。もし明らかになれば、手術後の再発を予測したり、一人ひとりに合った治療方針を立てるのに役立つ可能性があります。

さらに最近では、がんの中に存在する細菌や微生物（腫瘍内マイクロバイーム）にも注目しています。これらががんの性質や体の免疫の働きに関わっていることがわかり始めており、将来の新しい治療法の開発につながる可能性があります。

大学院での生活は、患者さんの診療に加えて、医学をより広い視点から見直すことができる大切な時間だと感じています。臨床と研究の両面で学びを深め、少しでも医療に貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



第11回 柳井医療センター市民公開講座



日時 令和7年10月25日（土）開場12時30分・開演14時

場所 田布施町保健センター
多目的ホール（田布施町下田布施 3430-1）

駐車場は、
会場敷地内になります。

参加費無料
健康チェック



○開場、受付、健康チェック 12:30 ~

健康チェック 【血管年齢測定(30名)、簡易認知機能検査(30名)】※それぞれ先着順に整理券を配布します。

○開会挨拶 14:00 ~
柳井医療センター 院長 宮地 隆史

○来賓挨拶
田布施町長 東 浩二様

○講演 14:10 ~ 15:55

前半 講演1 「寿命を延ばそう”沈黙の臓器”腎臓をまもる5つの習慣」
透析センター 看護師 弘中 由美

講演2 「とうせき、なにそれ？」
外科診療部長 松本 富夫

【休憩】15:00 ~ 15:10

後半 講演3 「頭痛と脳卒中について」
副院長 今村 栄次

講演4 「軽度認知障害(MCI)・認知症について」
院長 宮地 隆史

○閉会挨拶 15:55 ~ 16:00
柳井医療センター 副院長 今村 栄次

●主催 国立病院機構 柳井医療センター
認知症疾患医療センター
TEL 0820-27-0211：山口県柳井市伊保庄95
URL : <https://yanai.hosp.go.jp/>



●後援 田布施町 山口県柳井健康福祉センター

はじめてのアルバイト

今年度より看護学生のアルバイトを募集しました。夏期休暇を利用して、8名の学生さんが看護助手として勤務しました。うち2名をご紹介します。

今後の学校での
実習で経験を
生かしたいです!



1階病棟配属
明石 彩佳さん
(周南公立大学1年)

緊張感があって
やりがいがあります😊



整理整頓



洗浄

配下膳



実際に働くことで
学校とは違う経験が
できました😅



2階病棟配属
西藤 愛菜さん
(山口県立大学1年)

助手目線からだと
わかった点もあるので、
将来看護師に
なったときに経験を
生かしたいです!



物品補充

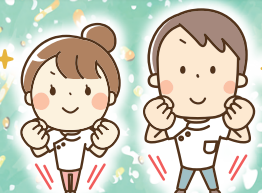


清掃



ベットメイク

引き続きアルバイトを募集します。冬期休暇・土日だけでもOK!
お気軽にお問い合わせください。(担当: 庶務係長)



地域医療連携室コーナー

重度訪問介護を知っていますか？

重度訪問介護は障害福祉サービスによる訪問介護です。介護保険では時間数が不足する、短時間では担い手が見つからないなど状況に応じて自由度の高いプラン設計が可能になります。対象者は障害福祉サービスの申請をし、障害支援区分が4以上で、障害支援区分の認定調査項目のうち歩行・移乗・排便の全てが支援不要以外に認定されている方。身体介護（入浴・排泄、食事等）、家事援助（調理、洗濯、掃除、生活必需品の買い物等）、その他生活に関する助言等を行ってもらえます。また特徴として難病や医療依存度の高い方を対象にヘルパーが喀痰吸引等の医療ケアに対応でき身体介護、生活支援、見守り等の総合的なサービスを提供し、行政が決定する支給時間によっては夜間を中心に24時間365日サービス対応が可能です。

<https://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11130500-Shokuhinanzenu/0000150449.pdf>

このサービスを利用して柳井圏域でも現在、人工呼吸器を装着して自宅で療養されている方がいます。この方は長年暮らしてきた我が家で季節折々の鳥たちのさえずりに癒される日々を送りたい、家族と愛犬と暮らしたいと、在宅支援者や行政の力添えで重度訪問介護を利用し安心した生活を送られています。まだまだ支給時間は足りませんが社会資源が地域と共に育っていくことを願っています。



愛犬と共にお散歩

認知症疾患医療センターコーナー

令和7年7月22日（火）若年性認知症の人と家族のための“カフェ・ラッポルティ”を開催しました。

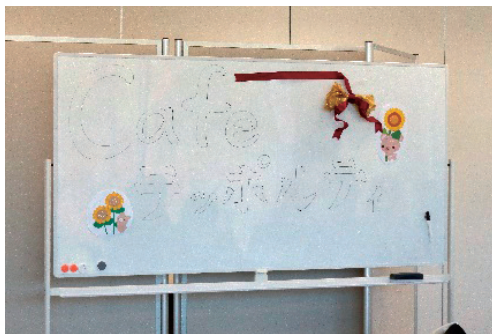
ラッポルティとは、イタリア語で人と人との関係やつながりというニュアンスがあり、集いや交流を大事にする文脈でも使われる言葉だそうです。診断後も関係やつながりが持てるように、また本人・家族が気軽に集える交流の場となりますように！と願いを込めてカフェ・ラッポルティと命名しました。

今回は、ここ数年間に当院で若年性認知症と診断された方たちを対象とし、当事者や家族が受診される際に開催日時や意向等について意見を交わしながら当日の開催を迎えました。県の若年性認知症コーディネーター、当院の心理療法士にも参加していただきました。事前打ち合わせや情報共有を行い、家族へのアドバイスや反省会ではスタッフへ助言もしていただきました。

当院での主催および当圏域内でも初めての開催だったため、当事者と家族の参加は極僅かだったのに対して、各市町の認知症関係スタッフが大多数とアンバランスではありましたが、無事に第1回目を終了することができました。

当事者&家族からの声

- 認知症であることを前提に話ができる方や場が数少ないので、話を聞いていただけてありがたかったです
- また参加したいと思います。
- 気分転換になった



病院の統計

【紹介率】 単位：%

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計平均
R6	87.9	87.0	75.7	82.0	68.6	78.0	82.0	73.7	81.6	75.0	75.3	80.6	79.1
R7	82.7	78.1	87.0	82.2	92.7								84.5

一般病床204床、療養介護病床76床

年 月	当院平均 患者数(人)			紹介患者数 (人)
	入 院		外 来	
	一 般	療養介護		
R7.8	195.7	74.3	67.6	76
(R7年度計)	192.3	74.3	64.0	402

外 来 診 療 担 当 表

		月	火	水	木	金	備 考
内 科		—	まつもと のぶお 松本 信夫	—	まつもと のぶお 松本 信夫	まつもと のぶお 松本 信夫	要 予 約
脳神経内科	初 診	みやち たかふみ 宮地 隆史	ふくば ひろまさ 福場 浩正	にしかわ とみがず 西川 智和	やまさき まさみ 山崎 雅美(隔週)	やまもと ゆみこ 山本優美子(隔週)	要 予 約
		いまむら えいじ 今村 栄次			たけした じゅん 竹下 潤(隔週)	やまもと ふみか 山本 史佳(隔週)	
	再 診	にしかわ とみがず 西川 智和	やまもと ゆみこ 山本優美子	みやち たかふみ 宮地 隆史	みやち たかふみ 宮地 隆史	ふくば ひろまさ 福場 浩正	
		ふくば ひろまさ 福場 浩正	—	いまむら えいじ 今村 栄次	にしかわ とみがず 西川 智和	やまさき まさみ 山崎 雅美	
				やまもと ふみか 山本 史佳(隔週)			
				たけした じゅん 竹下 潤(隔週)			
外 科	初 診	いたもと しんご 板本 進吾	たけもと まさひろ 竹本 将彦	すみもと りょう 住元 了	まつおか こうじ 松岡 功治	まつもと とみお 松本 富夫	火・木曜日 午後手術日
		もりうち としゆき 森内 俊行	もりうち としゆき 森内 俊行	—	すみもと りょう 住元 了	—	
	再 診	たけもと まさひろ 竹本 将彦	まつもと とみお 松本 富夫	—	たけもと まさひろ 竹本 将彦	まつおか こうじ 松岡 功治	
		—	—	—	—	いたもと しんご 板本 進吾	
腎 臓 内 科					ふくだ まさみち 福田 雅道		第 3 週
					ふじた しゅう 藤野 修		第 1・2・4 週
整 形 外 科				ふじた こうじ 藤田 貢司	たけだ こうじ 武田 光司		
循 環 器 内 科		みやもと しょうご 宮本 翔伍		さなだ りゅうへい 真田 竜平			
呼 吸 器 内 科			たかはし たつき 高橋 達紀			わたし なおかず 渡 直和	
肝・胆・脾・消化器科		おおの あつし 大野 敦司					
糖 尿 病・内分泌内科						おおの はるや 大野 晴也	
内 視 鏡		まつもと のぶお 松本 信夫		まつもと のぶお 松本 信夫		第1・3週 まつおか こうじ 松岡 功治	要 予 約
		まつおか こうじ 松岡 功治		まつおか こうじ 松岡 功治		第2・4週 じょうひら ゆうすけ 上平 祐輔	
皮 膚 科			かみがき りな 神垣 里菜				隔週
			なざり けんと 名桐 研人				隔週
泌 尿 器 科		しくま ひろゆき 志熊 紘行					午後のみ

は招聘医師

令和7年10月1日現在

腹部救急診療

24時間365日体制で診療しています。

対象患者

激しい腹痛、心窩部痛、
側腹部痛、腰痛、肛門会陰部痛、
鼠径部痛、下血症例



救急担当医は次のようになります。(※時間外の体制)

	月	火	水	木	金	土	日
担当医	森内	松岡	松本(當)	竹本	当番外科医	当番外科医	当番外科医

※消化器外科医が病院内に24時間365日常駐しています。

CT・MRIの検査予約を受付けています

当院では、CT及びMRIの検査予約を行っています。
下記の連絡先に予約を申し込んでください。放射線専門医
による読影結果は FAX 及び郵送にてお届け致します。撮影
画像はCD-Rで患者様にお渡し又は郵送致します。
(至急依頼の場合の検査報告は検査後 2 時間ほどで出ますの
でFAX後、郵送致します。)

CT・MRIの予約受付先

国立病院機構柳井医療センター放射線科受付
担当者 山本(やまもと)

電話:0820-27-0211 内線538または 229

※なお、FAXでの申し込み及びその他の診療予約については地域医療
連携室へ申し込んでください

